

埋もれた大宮びとの横顔

—薬・まじない・庄園の木簡

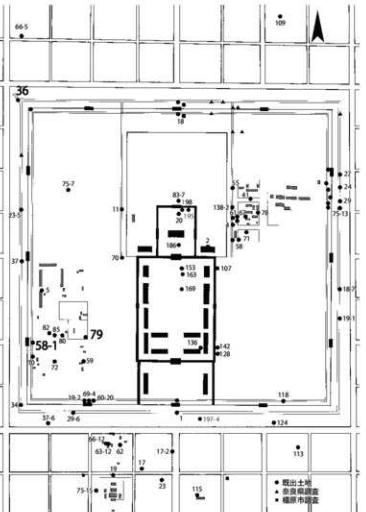


開催期間
平成31年4月8日(月)～4月26日(金)

表 展示木簡にみる薬

展示番号	薬名	よみがな	部位	本草和名	中薬大辞典による薬用*
1	(生)地炭 (シヨウ) シヨウ	炭	—	—	(乾地炭)血腫に対する影響、循環系統に対する作用、抗菌作用など
2	桔梗	キキョウ	根	アキノヒコキ ワカトキ	高級作用など
3	烏頭	ウズ	塊根	オウ	(草烏根)心臓に強い鎮痛作用
4	芍薬	キョウキョウ	根	オムナカワ クサ	(川芍)中脳神経系に対する作用、心血管系に対する作用、平滑筋に対する作用、抗菌作用など
5 13	白朮	トウキ	根	ヤマセリ、 カハキ	子宮に対する作用、物質代謝および内分泌に対する影響、循環系に対する影響、抗菌作用など
6	石膏	セキエイ	(鉱物)	—	—
7	石膏	リュウオウ	(鉱物)	ユノアカ(ワ)	(石膏質)下痢をおこす作用など
8	白朮	ビヤクジュツ	根	マケラ	利尿作用、血腫低下作用、抗菌作用、強壯作用、抗菌作用
9 10	人參	ニンジン	根	カノニクタク ニョク、 クマノイ	神経系に対する影響、生体の反応性に対する影響、内分泌系に対する影響、物質代謝への影響、循環系に対する影響など
11	杜仲	トシヤウ	樹皮	ハヒマユミ	鎮痛作用、利尿作用など
12	杜仲	ドクダク	根・ 根茎	ウド、 フチタラ	鎮痛・鎮痙・抗炎症作用、心臓・血管系への作用など
14	麻黄	カッコン	塊根	クズノネ	循環系統に対する作用、鎮痛作用、血腫低下作用、解熱およびエストロゲン様作用など
15	加齢	チモ	根	ヤマトコロ	抗菌作用、解熱作用など
16	夜干	ヤカン	根	カラスアヅキ	抗菌生体作用、消炎作用など
17	玄蔘	ゴカ	根	ムコギ	抗炎症作用、鎮痛・解熱作用、心臓血管系に対する影響など
18	桃人	トウニン	種子	(桃核)モモ	(桃仁)抗血液凝固作用と心臓に弱い強心作用

※1 本草類聚の写本(長春書院蔵)にカタカナで改めた。
※2 薬名は、現代ことよに類推される読みが異なる場合もあつた。赤丸まで印刷した。



藤原宮木簡出土地点図

埋もれた大宮びとの横顔 —薬・まじない・庄園の木簡

藤原宮跡からは、現在一万〇〇〇点余りの木簡が出土しています。都城発掘調査部史料研究室は、今年一月に『藤原宮木簡四』を刊行し、宮の西半部から出土した木簡五二九点(うち削解四三三点)の報告を終えました。今回の展示は、この報告書の刊行にちなんで企画したもので、報告書に掲載したなかから二点の木簡を厳選し、出土当時の姿を伝える保存処理前の状態をご覧いただきます。

展示する木簡は、藤原宮の時代に使われた薬にかかわる木簡(7・18)、藤原宮造営期に属するとみられるまじないの符号を記した呪符(19)、藤原宮の踏地(宮まれた庄園)で平安時代初期に作成された大型の帳簿(20・21)です。

古代には薬は貴重品で、国家により強制的に集積し保管されていました。薬を支給したときの木簡、貢納したときの荷札、保管したときの付札は、薬の管理が大宝令施行以前の時期からおこなわれていたことを示す貴重な資料といえます。こうした医療行為に加えて、都市生活の安寧や人々への祈りには、まじないがなお大きな役割を果たしていたようです。

平城京への遷都から百年の後、藤原宮の故地は庄園へと変化していました。ある庄で製られた大型の木簡は、史料の乏しい平安時代初期の庄園経営の実態がうかがわれる、たくい稀なる資料です。

この展示を通して、藤原宮の時代に生きた大宮びとの生活や信仰、宮跡発掘に営まれた庄園の姿を、木簡という「生」の資料から感じ取っていただければと思います。

例言

- ①、②のリーフレットは、藤原宮発掘資料庫でおこなう企画展示「埋もれた大宮びと」の横顔「薬・まじない・庄園の木簡」にちなんで作られたものです。(公開)平成三十年四月八日(月)～四月十六日(日)。
- ③本館の保全に完全を期するため、会中展示受付をおこないません。
- ④木簡の写しは、原寸の八〇パーセントに縮小して掲載いたします。
- ⑤「19」のラビエラ数字は今回の展示における通し番号を示します。
- ⑥「18」は藤原宮西内庭S D 一四〇(第五八、一二次調査から)、19は西方宮南地区の井戸S E 八四三二(第七九次調査から)、20・21は藤原宮西北隅の井戸S E 四〇三(六次調査から)出土しました。
- ⑦編纂は都城発掘調査部史料研究室が、写しは企画調整部写真室が担当しました。

編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部
発掘・発掘地地区・発掘研究室
編集 天理大学
平成三十年四月八日発行

※1 埋もれた大宮びとの横顔
※2 薬・まじない・庄園の木簡
※3 リーフレット

※4 都城発掘調査部史料研究室

※5 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※6 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※7 天理大学

※8 平成三十年四月八日発行

※9 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※10 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※11 天理大学

※12 平成三十年四月八日発行

※13 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※14 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※15 天理大学

※16 平成三十年四月八日発行

※17 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※18 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※19 天理大学

※20 平成三十年四月八日発行

※21 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※22 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※23 天理大学

※24 平成三十年四月八日発行

※25 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※26 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※27 天理大学

※28 平成三十年四月八日発行

※29 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※30 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※31 天理大学

※32 平成三十年四月八日発行

※33 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※34 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※35 天理大学

※36 平成三十年四月八日発行

※37 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※38 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※39 天理大学

※40 平成三十年四月八日発行

※41 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※42 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※43 天理大学

※44 平成三十年四月八日発行

※45 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※46 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※47 天理大学

※48 平成三十年四月八日発行

※49 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※50 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※51 天理大学

※52 平成三十年四月八日発行

※53 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※54 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※55 天理大学

※56 平成三十年四月八日発行

※57 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※58 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※59 天理大学

※60 平成三十年四月八日発行

※61 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※62 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※63 天理大学

※64 平成三十年四月八日発行

※65 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※66 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※67 天理大学

※68 平成三十年四月八日発行

※69 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※70 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※71 天理大学

※72 平成三十年四月八日発行

※73 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※74 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※75 天理大学

※76 平成三十年四月八日発行

※77 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※78 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※79 天理大学

※80 平成三十年四月八日発行

※81 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※82 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※83 天理大学

※84 平成三十年四月八日発行

※85 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※86 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※87 天理大学

※88 平成三十年四月八日発行

※89 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※90 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※91 天理大学

※92 平成三十年四月八日発行

※93 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※94 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※95 天理大学

※96 平成三十年四月八日発行

※97 編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部

※98 発掘・発掘地地区・発掘研究室

※99 天理大学

※100 平成三十年四月八日発行

白朮四



8 (表外)

人參十斤



10

杜仲十斤



11

當歸十斤



13

五加十斤



17

人參十斤



9

无耶志園藥鳥



3

无耶志園藥桔梗叶斤



2

夜干二十斤



16

石川阿曾弥所賜 忽生地黄



1

(符錄1) (符錄2) (符錄3) 鬼小 (符錄4) 今

手其



19 (7:10)

(表) 黑石藥十一
(裏) 斤



6

桃人七升



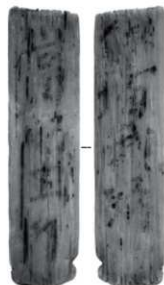
18

葛根六斤



14

(表) 伊看我評
(裏) 當歸五斤



5 (表外)

(表) 伊看我評
(裏) 芍藥八斤



4

独活十斤



12

知母五斤



15 (表外)

流黄二



7 (表外)